

# 英語科学習指導案

## 1 単元名

SUNSHINE ENGLISH COURSE 3 Step4 「わかりやすい文章を考えよう」

## 2 単元の目標

- (1) 話の流れがわかりやすい文章を書くために好きなことやその理由について書かれた英文をつなぎことばに注意しながら読んで、概要や要点をとらえることができるようにする。【知識及び技能】
- (2) 自分が作成した文章をより分かりやすくするためにどんなつなぎことばを入れるべきか考えることができる。【知識及び技能】

・本単元の指導に当たっての考え方

本単元は、よりわかりやすい文章を書けるようにするために、文と文、あるいは段落と段落をつなぐことばを適切に活用する力を育てることがねらいである。わかりやすい文章とは、単に文法的に正しい文の集合ではなく、それぞれの文どうしの論理的関係が明確で、利き手や読み手に取って話の流れがつかみやすい文章である。

例えば、

I studied for the test very hard last night. (一生懸命テスト勉強をした)

I didn't do well in the test today. (テストはよくできなかった)

という文があるとき、2文目の文頭に、逆接の **but, however** などを入れると話が円滑に流れる。文どうしのつなぎことばはいつも使われているわけではないが、私たちは読む・聞く際に常にそれを補っている。

本単元では、つなぎことばの多用は逆に文章をわかりにくくさせることを留意しつつ適切に利用する力を育てるために、自分の作成した文章をもとに、つなぎことばを効果的に使用方法を考える。

## 2 生徒の実態

生徒は3年間、新出文法を用いて3文程度の文章を書く練習をしている。例えば、**Koji can play the piano.**に続く文として、**He is in the music club. He plays it well.**のような説明文を入れる活動である。ほぼ全員の生徒が新出文法を用いた文に説明の2文をつけることができる。説明文が思いつかない生徒のために、文を書いた後にペアで発表しあい、ペアの相手から助言をもらう。そのあと何人か発表させ、クラスメイトのよい説明を取り上げる時間、思いつかない生徒のために全体で説明文を考える時間を設けている。その活動の中で、**Koji can play the piano. But he doesn't play it well. Because he doesn't practice hard.**のように、生徒は短い文の中でつなぎことばを多用してしまう傾向にあるので、つなぎことばを使わずに表現することを勧めている。

一方、5～7文程度のまとまった文章を書く際には、つなぎことばを効果的に使用することで、文章がよりわかりやすくなる。形式を意識させ、話の流れを作るために **Beginning** (導入) → **Body** (展開) → **Ending** (まとめ) の流れになるようにワークシートを工夫して、取り組ませている。ワークシートはスローラーナーの生徒は語の置き換えで文が作成できるように、英語が得意な生徒は説明を増やして、ある程度自由に作成できるように、難易度が違う2パターンの形式を用意し

ている。形式を理解すれば9割程度の生徒が、難易度が高い、説明を増やした形式で書くことができる。

しかし、形式を理解するだけで展開の中で、自分で考えた話を論理立てて書くことができる生徒は、2割程度である。多くの生徒は以下のように説明が箇条書きに過ぎず、話は自然につながっていない。

例

I like Fujii Sota very much.

He is a strong shoji player. He is from Aichi.

He is only 19 years old. He became a professional shoji player when he was 14.

He likes Ramen.

I respect him.

本単元で、つなぎことばを知り、それを効果的に使うことで箇条書きではなく、前後のつながりのある文章を書く意識をもつようにさせたい。

### 3 単元の評価規準

| ア知識・技能  | イ思考・判断・表現   | ウ主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|----------------|
| ①英語での言い方を知らないものを自分が知っている語句を使って伝えることができる。<br>②つなぎことばに注意しながら読んで、概要や要点をとらえることができる。<br>③自分が作成した文章をより分かりやすくするためにどんなつなぎことばを入れるべきか考えることができる。 | ①自分の考えを、理由を含めて伝えることができる。<br>②目的に沿って分かりやすいスピーチをすることができる。 | この観点では評価しない。   |

### 4 指導と評価の計画

| 課               | ○ねらい 学習活動   | 単元の評価基準  | 評価方法           |
|-----------------|---|----------|----------------|
| Steps3          | ○かんたんな表現で言いかえる<br>・教科書の例を利用し、言いかえる練習をする。  | ア①       | 後日テスト          |
| Steps4<br>本時    | ○わかりやすい文章を考える<br>・教科書のつなぎことばの一覧を利用し、「導入・展開・まとめ」にそれがどう使われているのか確認する。<br>・Interact で作成した「尊敬する人」の文章を見直して、必要なつなぎことばを考える。 | ア②<br>ア③ | 活動の観察<br>後日テスト |
| Steps5          | ○ディスカッションをする<br>・自分の意見を述べる。<br>・相手の意見に応答し、自分の意見を加えて話を進める。   | イ①       | 活動の観察          |
| Our<br>Project8 | ○町のPRを作成する<br>・モデル文を聞いて、聞き取ったことをメモする。   | イ②       | 活動の観察          |

|  |   |  |  |
|--|---|--|--|
|  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ペアで役割分担をして、PRの練習をする。</li> <li>・PRを完成させる。</li> </ul> |  |  |
|--|---|--|--|

## 5 本時の目標と展開

### (1) 本時の目標

- ① 話の流れがわかりやすい文章を書くために好きなことやその理由について書かれた英文をつなぎことばに注意しながら読んで、概要や要点をとらえることができるようにする。

【知識及び技能】

- ② 自分が作成した文章をより分かりやすくするためにどんなつなぎことばを入れるべきか考えることができる。

【知識及び技能】

### (2) 本時の展開

| 過程        | 学習内容と活動  | 指導上の留意点  | 評価                |
|-----------|--|--|-------------------|
| 導入<br>10分 | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 1 エマが書いている日記の一部を読む。</li> <li>・ 文章を読み、よりわかりやすくするためにはどうすればいいのか考える。</li> <li>・ ペアでお互いの意見を交流する。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 個人で考える時間をとり、自分の意見をもってペアでの話し合いに移れるようにする。</li> </ul>  |                   |
| 展開<br>35分 | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 本時の目標の確認</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px auto; width: fit-content;">わかりやすい文章を考えよう。</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 振り返りシートに本時の目標を記入する。</li> <li>○ 2 文章をわかりやすくするためにどんなつなぎことばを使うか考える。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 個人で黙読し内容を理解する。</li> <li>・ ペアで考えたつなぎことばと理由を話し合う。</li> <li>・ 全体で適切なつなぎことばを確認し、つなぎことばの効果を理解する。</li> </ul> </li> <li>○ 3 夏美が自分の趣味について書いた文章を読む。 <ul style="list-style-type: none"> <li>① ・ 個人で黙読し内容を理解する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ペアでどんな内容か話し合い、全体で簡単に内容を確認する。</li> </ul> </li> <li>② ・ まずは個人で考え、ペアでどこに当てはまるか話し合い、全体で確認する。</li> </ul> </li> <li>○ 4 展開を充実させるポイントを学ぶ。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ まずは個人で考え、ペアでどのように分類したか話し合い、全体で確認する。</li> </ul> </li> <li>○ Interactで作成した文章を見直し、必要なつなぎことばを考える。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ まずは個人で考え、グループでどんなつな</li> </ul> </li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 答えを示すのではなく、生徒の気づきを引き出すために、考えている間は助言のみにとどめる。</li> <li>・ 教科書の「導入・展開・まとめ」に着目するよう助言する。2学年時に同じ活動をしたことを伝える。</li> <li>・ 展開部分を充実させることで、詳細まで相手に伝わる文章になるかどうかが決まることを伝える。つなぎことばをすでに使っていたら、それが効果的か考えさせる。文によって、つなぎことばが使え</li> </ul> | <p>①</p> <p>②</p> |

|           |                |   |  |
|-----------|----------------|---|--|
|           | ぎことばを使ったか話し合う。 | ない場合もあることに留意させる。<br>。   |  |
| まとめ<br>5分 | ○振り返りシートの記入    | ・ Our Project8 では各自が発表に挑戦すること、わかりやすい文章を書くことがそこにつながっていることを伝える。 |  |

## 6 評価

アの② つなぎことばに注意しながら読んで、概要や要点をとらえることができる。

### (1) 評価方法

ペアワークで文の内容を考えながら文の構成を分類できているか観察する。

### (2) 「おおむね満足できる」状況（B）と判断した具体例

③②で導入、展開、まとめの分類ができるが、個人で④のBody内の分類ができなかった。

アの③ 自分が作成した文章をより分かりやすくするためにどんなつなぎことばを入れるべきか考えることができる。

### (1) 評価方法

Our Project8で文章を作成する際、つなぎ言葉を効果的に使用できているか原稿で確認する。